

災害時安否確認チェックシート

ブラウンハイム自治会・管理組合
共同活動組織「災害に備える会」

突然襲ってくる地震や災害に備え、家族で身を守る方法を話し合っておきましょう。
勤務先や学校、外出先で被災した場合の連絡方法等について、家族で確認しておきましょう。
確認した後は、身近な場所分かり易い場所に置いて活用しましょう。

■【家族の安否確認について】 ※チェックシートの[]欄をレ点で記入してみましょう。

■ 「ご家族の連絡先」を把握していますか？

	連絡先・電話・名前・等々	連絡方法・集合場所等
勤め先		
学校		
幼稚園		
その他		

■ 「家族の落ち合う場所」を決めてありますか？

【避難所、近くの親戚、etc】

■ 「連絡が取れない場合の対応」を決めてありますか？

【伝言ダイヤルを連絡できるまで使う、避難所の掲示板を使う、etc】

■【独り暮らしの人の確認について】

災害時は、直ちに安否確認が取れないと思われれます。

■ 何方か連絡をする又は、される人が決まっていますか？

【懇意なAさん、親戚のBさん、etc】

■【イエローサインについて】

■ ブラウンハイム「災害に備える会」では、災害時に居住者の皆さんの安否確認を行う為に「イエローサイン」を全戸に配布しています。 **知っていますか？**

「イエローサイン」は、『私達は無事です！』を知らせる為にベランダに掲示します。

■ 「イエローサイン」が何時でも使える状態になっていますか？

■【ブラウンハイムのアドレス情報】

■ 災害時、「ブラウンハイム」の連絡は下記のアドレスを使う事が出来ます。

ブラウンハイム関連のアドレス情報	
対策本部TEL:	045-771-5999
E-Mailアドレス:	buraunhaim@fork.ocn.ne.jp
ホームページURL:	http://www.burauhaim.com

■【災害時の安否確認の連絡ツールについて】

大きな災害が発生した場合、NTT東日本は「災害用伝言ダイヤル171」の運用を開始し、各携帯電話会社は「災害用伝言板」の運用を開始します。これらは、家族や知人に無事を知らせたい時や家族や知人の安否を確認したい時に利用できます。どの方法で安否確認をするかや使用順位を家族で話し合っておきましょう。

■「災害用伝言ダイヤル」を知っていますか？、使う事が出来ますか？、試用した事がありますか？

災害用伝言ダイヤル「171」
※携帯電話・PHSからも利用できます。
(一部の事業者を除く)

伝言を録音するとき

1 7 1 - 1 -
 被災地内の自宅の電話番号
(固定電話に限る)

- ①「171」をダイヤルします。
- ②音声案内に従い、「1」をダイヤルします。
- ③自分の安否について家族や知人が聞く可能性の最も高い電話番号を(例えば自宅の電話番号)を必ず市外局番(0XX-XXX-XXXX)から順にダイヤルし、音声案内にしたがって安否等のメッセージを録音します。

伝言を再生するとき

1 7 1 - 2 -
 被災地内の自宅の電話番号
(固定電話に限る)

- ①「171」をダイヤルします。
- ②音声案内に従い、「2」をダイヤルします。
- ③連絡を取りたい相手先の電話番号を必ず市外局番(0XX-XXX-XXXX)から順にダイヤルします。

※1. 災害用伝言ダイヤルは、毎月1日、15日に体験利用することができます。

■「災害用伝言板」を知っていますか？、使う事が出来ますか？

災害用伝言板
※携帯電話のWEBサイトのトップ画面からアクセスして利用します。

伝言の登録

- ①トップ画面の「災害用伝言板」を選択。
- ②画面が表示されたら、「登録」を選択。
- ③自由にコメントを入力。
- ④その画面で「登録」を選択。
- ⑤伝言の登録が完了。

伝言の確認

- ①トップ画面の「災害用伝言板」を選択。
- ②画面が表示されたら、「確認」を選択。
- ③相手の携帯電話番号を入力。
- ④その画面で「検索」を選択。
- ⑤伝言の検索結果が表示。

■【直接、安否確認の連絡が取れない場合について】

「三角連絡法」と言われる伝言を託す第三者を家族内で事前に決めておき、この第三者を介して連絡をとる方法があります。被災地への電話は、掛かりにくいですが、被災地からは比較的通じ易い事があります。仲介役の第三者は、遠方の親戚、知人を選んで依頼しておきましょう。

■「三角連絡法」を使える様に、親戚、知人を選んで依頼してありますか？

